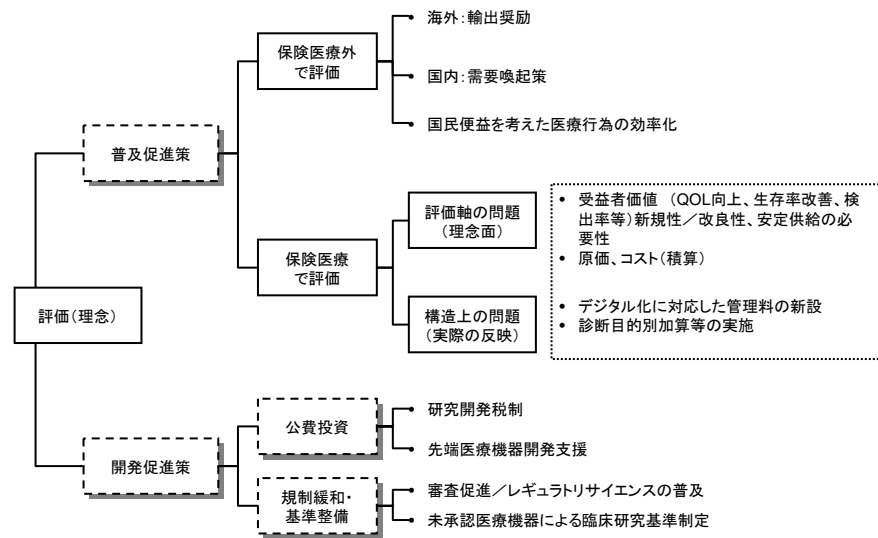


# 医療機器・医療技術の価値をわかりやすく伝えるために ～ 「医療技術(再)評価提案書」の記載を例として ～ (抜粋版)

## 作成の背景

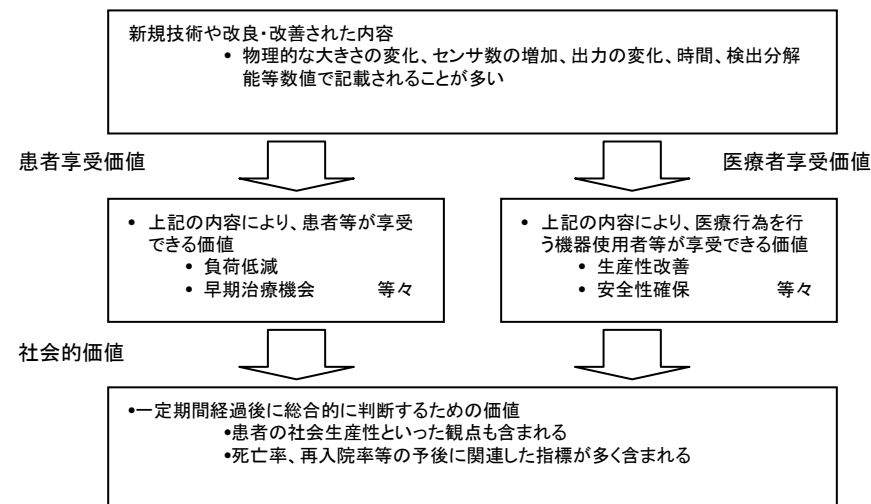
医療機器企業の企画・開発・医療保険担当者が、社内での企画内容を説明や、医療関係者や行政に対して開発された医療機器・医療技術の価値をわかりやすく伝えるために必要となる観点を整理したものである。

## 評価の現状と課題



- 個別技術に限らず医療機器産業への評価として広く考えると、普及促進と開発促進という軸で整理可能である
- これまで議論されて来たコスト・産業発展の視点、社会的・経済的評価の視点、保険収載範囲の視点等は普及促進策に位置づけられるが、評価されている範囲は様々な状態である。

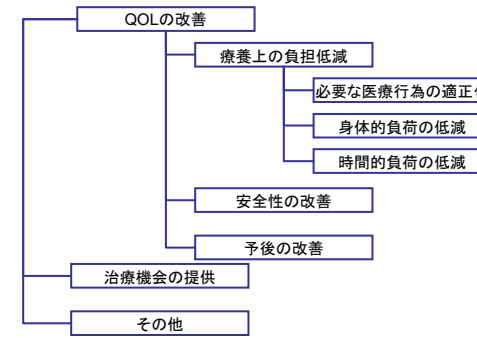
## 価値を伝える3つの視点



- 価値をわかりやすく伝えるためには、患者・医療者がそれぞれ直接享受する短期的な価値を整理した上で、社会として享受する価値を長期的視点で見ることが重要である。
- 医療技術(再)評価提案書への記載にも活用可能な考え方となっている。

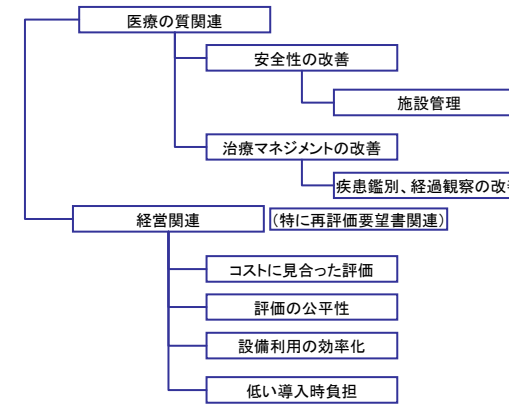
## 各視点の位置づけ

### 患者享受価値



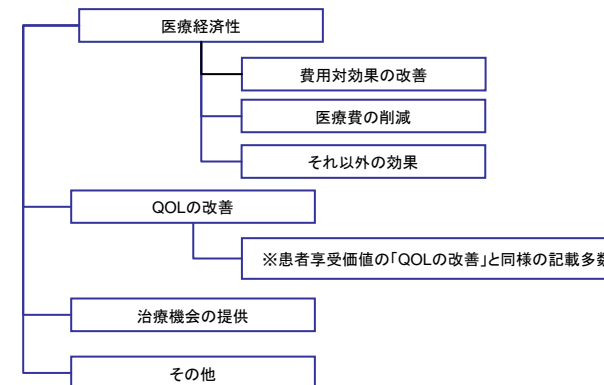
- 個別患者の便益性を高める価値と公共性の高い患者便益を高める価値の2種類に分けられる。
- 個別患者の便益を高める価値の中で負担軽減や安全性の確保等のかかなりの部分が、最終的には患者QOLの改善につながるものである。
- 社会的価値とも重なり合う部分が多くなる。

### 医療者享受価値



- 診断・治療を行った結果として、医療行為を行なう機器使用者又は医療者が享受できる価値を指す。大別すると、医療全体の質を高める価値と医療機関の経営効率を高める価値の2種類に分けられる。
- 前者は、医療事故を低減し診療の安全性を高め、検査・診断の精度向上により疾患の鑑別精度の改善に貢献する価値である。
- 後者は、コストに見合った診療報酬が得られる、入院期間の短縮により入院患者の回転率が向上する、高い設備稼働率を維持する等、効率的な経営に貢献する価値である。

### 社会的価値



- 患者ならびに医療者が享受する短期的かつ限定的な価値を長期的且つ広域的な視野で捉えた価値を指す。社会として享受できる価値も含む。QOLの改善に関連する患者視点での内容と、医療経済性や皆保険下での治療機会の提供と行った社会システム観点での価値に大別される。
- それ以外の観点としては、政策医療の方向性との合致、廃棄物対策や省エネルギーといった、より大きな社会問題に対する取り組み等が存在する。

## まとめ

- 医療関係者や行政等に対して開発された医療機器・医療技術の価値をわかりやすく伝える事を目的とし、医療技術評価提案書を事例に記載上のポイントを整理した結果、本質的な価値として伝えたい事項は一定程度系統的にまとめることが可能であることを示すことができた。
- 一方で、医療機器産業育成の観点からは、保険収載だけによる評価にこだわらず、より柔軟に市場創出や新医療機器・医療技術の迅速な普及に向けた施策の議論も必要となる。